

世界へはばたけ！

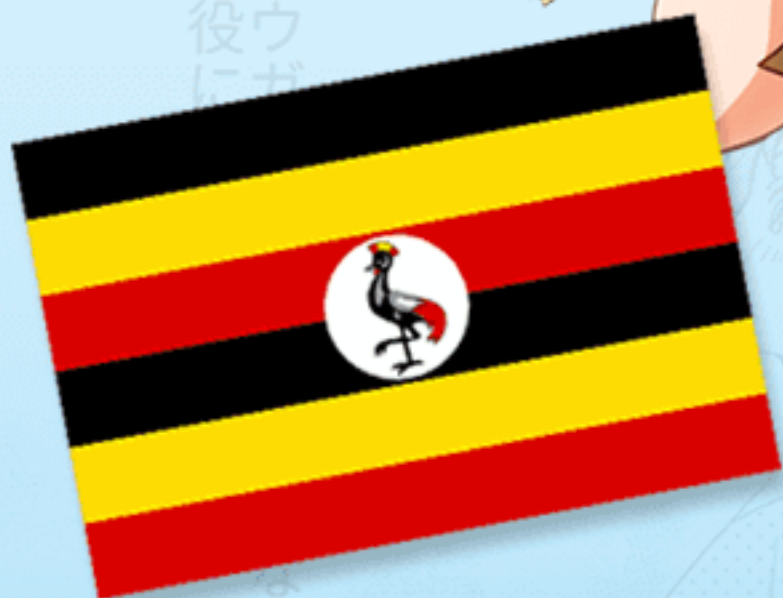
マンガで知る

青年海外協力隊

オリオティア？

Olyotya?

「オリオティア？」はガンダ語で「こんにちは！」という意味で、ウガンダの一部で話されている言葉です。



アフリカには
学校給食がありません

わたしは松下優まつした ゆう

中学のとき
このコマーションシャルを見て

心に引っかかる
ものがあつた…

大学4年生のころ

もうすぐ
夏休みだし

なにか有意義ゆういぎな
ことをしたいなあ

あの時から…

ずっと頭に
残ってる
コマーションシャル…

よし決めた!

今こそ
アフリカに行こう!

こうしてわたしは
1カ月の
短期ボランティアとして
青年海外協力隊せいなんかいがいさようりょくたいに参加

はけんさき
派遣先は
ウガンダ

エイズで親をなくした
子どもたちに
手工芸を教える
活動をした

また来てね
お姉ちゃん！

うん！

きつと
また来るから！

1カ月なんて
あっという間だわ…

やり残した
こともあるし…

今度は[※]もっと長く
協力隊に参加したい

※JICAボランティアには
原則2年間の任期の長期ボランティアと、
1年未満の任期の短期ボランティアが
あります。

大学卒業後
一般企業に
就職

それから
3年たっても
ウガンダの事が
忘れられず…

やっぱり
わたし

もう一度
ウガンダに
行きたい！

固い決意をして
上司に相談すると…

本気なんだね

頑張^{がんば}って
挑戦^{ちようせん}して
みなさい

ありがとうございます
ございます！

さっそく
協力隊に応募^{おうぼ}

書類選考、
面接^{めんせつ}の後
無事に合格^{こうかく}！

やったあ！

合格した！！

こうして今度は
2年間の長期の
協力隊として
再びウガンダの地へ

東アフリカに
位置する
ウガンダ共和国

人口は約 3778 万人
公用語は英語、
ガンダ語、
スワヒリ語など
部族によりたくさんの
言語が使われている

ウガンダに
来るのは
2度目になります

2年間
よろしくお願
いします！

こちらこそ
よろしくね
一緒にがんばり
ましょう

今回の配属先は
ウガンダ東部にある
クミ県庁の農業課

「コミュニティ開発」隊員
としてのわたしの主な役割は
アフリカのやせた大地でも
育つ『ネリカ米』の
栽培方法を広めること

専門家と一緒にね！

ウガンダの主食は
トウモロコシ粉や雑穀
イモなどが中心

お米を広めることが
できれば
栄養バランスの
改善につながるの！

※アフリカの厳しい環境にも強く、
たくさん米を実らせることができるイネ。

現地の方々に
声をかけ

集まってくれた
3人と米作りを
スタート！

ネリカ米は
順調にいけば
4カ月ほどで
収穫できるの

それはいい！

早く
始めよう！

頼りにしてるよ
ユウ

農業については
技術補完研修で学んだ

経験は浅いけど…
やるしかない！

※赴任先からの要請内容に的確に対応する
ために必要な技術などの研修。

そして
3回目の11月

どうだい??

……で、できた!

本当か!?

うん!

わたしたちが作った
ネリカ米よ!

やったー!

ユウ!
やったな!!

こんな
砂だらけでも
本当にお米が
できるんだ!

よし!
これをもっと
広めよう!

オレに
まかせてくれ!

よろしくね!
ロバート!

スタートから
1年以上がたち
ようやくお米を
収穫できた

あの時の喜びを
忘れることは
ないだろう

その後、
苦楽をともにしてきた
ロバートが多くの
農家を回って
ネリカ米の栽培方法を
広めてくれて

少しずつではあるけど
クミ県にも稲作が
広まっていった

君は一時的に
助けてくれる
お金ではなく
一生を助けてくれる
技術をくれた
恩人だ

本当にありがとう

うれしい…
こちらこそ本当に
ありがとう

少しは…

ウガンダに住むみんなの
役に立てたかな？

帰国後、
*フエアトレードに
取り組む会社に入っ
て経験を積んだわたしは

ウガンダの女性たちに
手工芸を教えていた
経験を生かして
アフリカの布と革で
クラフトをつくる
会社を立ち上げたの

☆

いずれはわたしが
デザインを考えて
製品化するのが
今の夢！

※産業がまだ十分に成長しておらず、経済的に弱い立場にある国の
製品や作物などを、適正な価格で継続的に購入する貿易のこと。

ひとりでも多くの
アフリカの人々に
働く機会を
与えられたら
こんなにしてきな
ことはない

青年海外協力隊に
参加して
本当によかった！

引っ込み思案だった
わたしも夢に向かって
一歩踏み出すことが
できたの

あなたも協力隊に
参加してみない？



JICA海外協力隊ウェブサイトで他のストーリーも読めます！

<https://www.jica.go.jp/volunteer/manga/>

検索



※本誌に掲載されている内容はJICA海外協力隊ウェブサイト「JICA海外協力隊の人とシゴト」のインタビュー記事を元に作成しており、マンガ内の表現等は、JICAの公式見解を示すものではありません。